

# いじめアンケートをする意味とは

大友 のん

宮城県名取高等学校

私の学校では、定期的にいじめに関するアンケートを行います。先生がプリントを配布し、私たちはたった数個の項目にチェックをしていくような簡単なものです。普段何気なく記入しているアンケートは、本当にいじめの防止・発見できるものなののでしょうか。

私はそうは思いません。個人的な意見ですが、このアンケートはただ単にいじめられていないというアンケートを先生たちが見て安心しているだけのように感じます。確かにそれでいじめが発覚し、助かる人もいると思います。しかし、正直に「いじめられている」と書く人はほんのわずかだと思います。仮に「いじめがある」と書いた場合、それを知った先生たちや周りの人たちはどうするのでしょうか。きっとその子は先生に呼び出され、詳しく何があったのかを聞くでしょう。そのいじめてきた人たちを先生が呼び出して説教することが解決に繋がると思っているのだと思います。見た目上では解決しているのかもしれませんが、いじめられている子は、チクったと言われてよりひどい仕打ちを受けてしまうのではないのでしょうか。このようになることを恐れ、皆が嘘の回答を行っているのであれば、意味のないことだと思うのです。結果として0だった時、その後にいじめの問題が発覚しても、「調査した時は何もなかった」と学校側が主張し、アンケートを行ったという事実だけがあることによって、いじめに関して無関心ではなく、いじめ防止に努めていたという学校側としても言い訳に利用されているのではないかと思います。結果として助けられていないということだと思うのです。

このことからどうしたらいじめられている子を助けることができるのかを考えました。1つ目は、プリントではなく、スマホで集計をすることです。プリントでは回収する時など裏返しにするとはいえ、見えてしまうこともあります。そこに抵抗がある人もいないかと思いました。そのため、個人のスマホから送信することで周りで見られることなく助けを求められる1つの手段になるのではないかと思います。そして2つ目は、アンケートを行って今行われているいじめを発覚するだけでなく、いじめそのものを作らないための道徳的な授業を行うことです。

「あなたもいじめられている子を見たら助けてあげてください」そんなことを言われてもいざ本当にその姿を見たとき立ち向かえるのでしょうか。心の中で、次に私がいじめられる対象になるのではないかと見て、見ぬふりをする人もいると思います。この言葉はただの綺麗事に過ぎないのだと思います。暴力で止めるのではなく、日ごろから「大丈夫？」や「気にすることないよ」などと一言かけてあげることが大切だと思います。優しく声をかけることで「私にも味方がいる」、「1人じゃない」と自信を持たせて、少しでもその子を助けてあげることができるのではないかと思います。日ごろから周りに声をかけて信頼を作っていくことを身に付けていくことが1人でも多くの子を助けられる行動ではないかと思っています。